

## 和光会会報No. 54

－三菱電サービス（菱サ）～三菱電機ビルテクノサービス（MELTEC）本社OB会－

### ◆ 第16回総会開催

去る30年6月16日（土）13:00～15:30町屋システムプラザB館8階大会議室において第16回和光会総会が開催されました。

梅雨シーズンで先日からの雨で天候が心配されましたが、朝のうちに雨も上がり、70名の会員が参加され開催されました。総会は、いつものように布施幹事の司会で定刻に開催。

開催にあたりまして、幹事を代表して原田憲一幹事からご開会挨拶がありました。要旨次の通り。

「会員の皆様、第16回和光会総会にご参加頂きありがとうございます。昨今は、世界初の米朝首脳会談や初の新幹線事故など、時代の変化が大きくなっております。特に健康面では、人生100年・エージレス社会などと言われ、100歳まで元気で働いて、医療費を節約するような社会も夢では無くなってきました。最近ですが、評判の映画「万引き家族」を見に行ったときに、「終わった人」の広告看板が目に入り、それに心惹かれて、「終わった人」の映画を見てしまいました。これは、超エリート銀行員が、定年退職後に人生の落差をしみじみ味わうことがテーマになっています。「散る桜、残る桜も散る桜」、いかに生きて人もは、一旦終わった人になって静かな人生を味わうことも大事と思いました。皆様方は、元気良く100歳まで働く人と終わった人で余世を送る人とそれぞれと思いますが、まずは毎日元気でいることが何よりです。今日はお互い大いに懇親を深めて下さい。」



幹事代表挨拶・原田幹事

続いて総会議案の審議に入り、寺門事務局より、配布資料に基づき第15期（29年度）事業報告・会計報告があり、また、佐藤監事から監査報告があり下記の通り、満場の拍手で承認されました。

1. 第15期活動報告（第15回総会開催、会報の発行、1194・カレンダーの送付など）
2. 第15期会計報告（2017/4～2018/4）
3. 第15期会計監査報告
4. 第16期計画（第15期までの活動と同様に、会員相互の親睦を深めるよう充実して行く）

次に、規則第8条―幹事等の任期2年―により、現幹事・監事の改選時期は来期であります。前回（第15回）総会席上お願いした通り、今回、幹事の選出を行い、幹事候補者の推薦お願いいたしましたが、会場からは推薦がありませんでしたので事務局より下記の5名の推薦があり、満場一致で承認されました。

新幹事（河内誠氏、木瀬吉昭氏、小泉俊一氏、瀬野義雄氏、村山行雄氏）

また、和光会設立時から活躍された橋本英雄氏が退任されました。長い間ご苦労様でした。

これで幹事が19名になり、スムーズに幹事の世代交代が進むとおもいます。

次に下記のようなお知らせあり。

- ①カレンダーの追加・手帳の頒布についての申し込み方法の説明  
（すでに6/30に申し込みは締め切りました。）
- ②MTB和光会の連絡・問い合わせ窓口の確認
- ③和光会ホームページのアドレス変更（すでにご連絡のとおり昨年変更になっています）  
新アドレスは会報後述の「事務局より」をご覧ください。

総会に引き続き布施幹事の司会により続きまして懇親会に移り、来賓ご出席の常務取締役一条靖久昇降機保守事業本部長から、会社事業の状況説明を含めたご挨拶を戴きました。

昇降機保守事業本部の一條でございます。本日はお招き頂き有難うございます。諸先輩の前でご挨拶ということで、僭越ではございますが大変光栄に存じます。私は、今年4月、首都圏第二支社から異動したばかりです。初めて参加させていただきますのでどうぞ宜しくお願い致します。

当社も今年で65期を迎え吉川社長以下、「安全・品質最優先、倫理・遵法の徹底」の経営方針のもと、事業に取り組んでおります。今年の新入社員351名も含め、社員数は約9,600名と、着実に成長を遂げておりますのも、ひとえに本日ご列席の皆様をはじめ諸先輩方のおかげであると現役を代表して感謝申し上げます。

### 1. 当社の業績について

昨年度（2017年度）は受注高、完工高とも3,300億円を超え、いずれも前年度の実績を上回り、過去最高額を更新しております。

また、支社経常利益（P1）も前年度を上回り、2017年度は、増収、増益の業績を残すことができました。

昇降機事業は、新設販売は他社との厳しい競争が続いておりますが、モダニが大きく伸びており、業績を支えています。ファシリティ事業については、完工高は伸び悩んでいるものの、2017年度は増益となり、利益ある成長に向け、種々の施策に取り組んでいるところです。今年度は、更なる成長を企図した年度計画の目標達成に向け、全社一丸となって日々の業務を遂行しております。

### 2. 働き方改革への取り組み

世間を賑わせております「働き方改革」ですが、当社におきましても、本格的に取り組むことにしております。

昨年度「働き方改革実行委員会」において、本社として取り組むべき生産性向上策や諸制度の検討を行うとともに、労働時間の適正把握に向けた仕組みの構築を進めてまいりました。

今年度は、「すべての社員がワークライフバランスを実現、やりがいをもってイキイキと仕事ができる会社となること」を目指し、改革に取り組んでいくことにしております。具体的には、本社各部（本部）、各支社にてアクションプランを策定し、本社・支社連携のもと、種々の施策を展開し、目指す方向に向けて進めていきたいと考えております。

本件については、当社のみならず、一緒に仕事をしている子会社・関係会社も含め、そこに働く人のすべてが先に申し上げたことを目指していきたいと考えております。

### 3. 昇降機保守事業について

最後に私が担当しております昇降機保守事業についてお話しさせていただきます。

まず、昇降機保守の元となります新設については、国内総需要が伸び悩んでおり、競合他社との価格競争もあり、非常に厳しい状況にあります。このような中、トップシェア維持に注力しておりますが、新設の受注台数は、モダニとほぼ同じ規模になっています。

昇降機保守につきましては、新設の伸び悩みに加え、独立系保守会社の台頭等により、保守契約率、保守保有高ともに年々厳しさを増してきている状況にあります。当社の基幹事業である昇降機保守の維持、拡大に向けて、価格競争に溺れることなく、新保守サービスを投入・加速させ、懸命に奮闘しております。

一方、昇モダニは、活況を呈しており、ここ数年、受注台数は5,000台を超え、2018年度は更に高い目標を掲げ取り組んでいるところです。皆様になじみ深いところでは、本年3月に東京タワー殿の特別展望台トップデッキへのエレモダニが完工。高層ビルのはしりでもある新宿住友ビル殿、また横浜ランドマークタワー殿の昇降機のモダニも開始しております。



来賓ご挨拶・一條常務

いずれにしても、昇降機保守事業を取り巻く環境はここ数年で激変していると感じております。このような中で、当社の基幹事業である昇降機保守事業の更なる発展に向け、しっかりと舵取りしていきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

本日は時間の許す限り、おくつろぎいただければと思います。和光会の盛会を祈念し、私の挨拶とさせて頂きます。



乾杯ご発声・松本百代さん

続いて会員の松本百代さんに乾杯のご発声を頂き懇親に移りました。昨年よりお弁当方式になり、ゆったりと年一度の参加者間での夫々の方の思い出、健康問題やその他近況等、懐かしい顔や、思いがけない人との懇談に花が咲きました。日頃の生活を他の人と話すことにより、心をリフレッシュする場にして

て頂ければと幹事一同願っています。

その後に懇親・アトラクションと進みました。恒例となったビンゴゲームは、幹事の土屋幹事の司会、若宮幹事の番号抽選、松崎幹事の番号書記、渡辺富美子幹事の賞品渡しと、4人の息の合った進行で大いに盛り上がり進行されました。今年も各本部より寄贈されたノベルティグッズの賞品（ゴルフ関係のものをはじめ、クオカード、図書券、牛革製ブックカバー等々……）をめざして。今回もビンゴは全数やらず、半数程度とし、残りの方は残ったものの中から希望したものを選んで頂き、会員の皆様全員洩れなくノベルティなどをゲットして、大いに満足されたご様子でした。

閉会の前に、これも恒例となりました参加会員での合唱「みんなで歌いましょう」コーナーでは地頭所偉幹事の指揮のもと、今回も前に2名の方（会員の鳩谷恒子さん・MTBの増永美咲さん）に出ていただき「ふるさと」とNHK鶴瓶の家族に乾杯テーマ曲「Birthday」（さだまさし作詞・作曲）の2曲を歌い、会員相互の親睦を深め合いました。



全 体 合 唱

閉会の辞は、開会と同じ原田幹事の一本締めで、閉会となりました。

例年のようにC館81・82会議室で全員での記念写真の撮影があり、来年も皆さん元気で、誘いあい参加致しましょうと言葉を交わし、散会となりました。



集 合 写 真



総 会 風 景



### ビンゴゲーム

今年も8階ロビーに会員の作品展示コーナーが設けられ、9名の会員の方から出品がありました。  
東山孝幸さん・磯田昇さんは都合により総会には出席されませんでしたが出品して頂きました。



### 展示コーナー

久しぶりに橋本尊音さんが「写真」を展示される予定でしたが、前日大雨の予報があり、運搬が困難とのことで、残念ながら出品を断念されました。小藤俊雄さんもいつもの「木彫刻」出展のご連絡をいただきましたが、都合により総会に出席されませんでしたので出展を取りやめました。

また、今年もパワーポイントを使って MELTEC の過去と現況をスライドショーで紹介がありました。これら素晴らしい作品（版画、水彩画、竹細工、書道、陶器等）を出展して頂いた方々に深く感謝いたします共にお礼申し上げます。

展示会は来年以降も継続を予定しておりますが、種々な趣味をお持ちの会員も多いと思いますので、作品の出来栄をあまり気にせず、出品していただきたいと思います。

なお、今回展示された作品の紹介は次号以降順次ご紹介をしていく予定です。

#### 第16回和光会総会 趣味の展示コーナー 出展者と作品（敬称略、順不同）

| No | 氏 名   | 作品のジャンル  | 作品名                 | 大きさ・様式         |
|----|-------|----------|---------------------|----------------|
| 1  | 金山 幸雄 | 陶芸       | 黒泥・酸化焼成「六角堂ランプシェード」 | 15×15×20       |
|    |       |          | 黒泥・酸化焼成「龍紋様酒器セット」   | 15×15×20       |
|    |       |          | 黒泥・酸化焼成「龍紋様菱型香炉」    | 15×15×20       |
|    |       |          | 備前・登り窯焼成「瓢箪型一輪挿し」   | 15×15×20       |
| 2  | 布施 昌義 | 日本画      | 古刹と杉林               | F8号            |
|    |       |          | 湖水に森写る              | F6号            |
| 3  | 東山 孝幸 | 水彩画      | 小網代湾の休日             |                |
| 4  | 笠井 宗男 | 油絵       | 新緑の湿原 尾瀬ヶ原の思い出      | F15号           |
|    |       |          | 四万湖の秋               | F10号           |
|    |       | 書道 条幅    | 「春夜」 蘇軾の詩（七言絶句）     | 198×50         |
| 5  | 和田 昭喜 | 写真       | 竿師（へら竿火入れ）          | 半切額・<br>四つ切ワイド |
|    |       | 工芸品（竹細工） | へら竿 8尺3本継（総竹製・漆塗り）  |                |
| 6  | 磯田 昇  | 新聞記事     | クルージングで出会った素敵な親子に乾杯 | 東日新聞           |
|    |       |          | 『官庁とシニア層だけが残る国』への不安 | 東日新聞           |
| 7  | 鈴木 廣行 | 木版画      | 天皇の駅                | 75×65          |
|    |       |          | 三ノ輪橋                | 75×65          |
| 8  | 河原 利昭 | 模型       | 世界最小エレベーター精密模型      |                |
| 9  | 佐々木憲一 | スライドショー  | 当社と和光会のあゆみ（パワーポイント） |                |

## ◆ 行田市の田んぼアートを見に行った話

…… (2017-06) —山本 拓弘 (馬骨) さんから投稿頂きました—  
※これは2016年の記事です。

田んぼアートといえば、発祥の地として尊敬している田舎館村 (青森県) のそれが最高のものだと思っている。一昨年も見に行き、大地に稲穂で描かれた富士山と三保ノ松原の天女の優雅な像に圧倒され、又第2会場のサザエさん一家の微笑ましい表現に感嘆したのだった。弘前市や黒石市に挟まれた地に位置する田舎館村には、垂柳遺跡という弥生時代の稲作の遺跡があり、これに因んでこの田んぼアートが村おこしの一環として始められたと聞いているのだが、その後これに倣って全国各地で田んぼアートが描かれるようになり、今では田んぼアートのサミットも開かれているとか。



田舎館村田んぼアート、2014年度作品「富士山と羽衣伝説」の半分、羽衣伝説の部分。これは田舎館村役場の展望室から俯瞰したもの。一度に富士山を撮るのは無理だった。

今まで田んぼアートは田舎館村のそれが至上的のものと思っており、他の場所へ出掛けて行って見て見たいとは思わなかった。ところが先日自治会の一杯やる集まりの話の中で、この近くにも田んぼアートがあり、しかもそれがギネスに認定されているという話を聞いたのである。場所は埼玉県行田市ということだった。これは一度見ておかなければならないと思った。それで、早速見に出かけることにしたのである。

埼玉県行田市は国道17号線を利用する時には何度も通過しているのだが、その地名は知っていても、足袋生産で有名な所くらいしか知

らず、その実際を確かめたことは無く、他に何があるのかは全く知らなかった。ネットで調べて、何処に田んぼアートがあるのかは直ぐに判った。真に便利な世の中になっている。行田市の市役所に近い「古代蓮の里」という所にあるとのことだった。

九月に入ってから秋雨前線や台風の襲来で天気が悪い日が続き、なかなか出向くに相応しい日がやって来なかったのだが、ようやくチャンス到来と、曇りとの予報を無視して、中秋の名月が見られる筈の日に出かけることにした。知人は直ぐ近くだとおっしゃったのだが、思ったよりかなり遠くて、到着するのに2時間近くを要した。「古代蓮の里」の中にある古代蓮会館に着いたのは正午間近だった。

思ったよりも遥かに広い敷地の中には、かなりの種類の古代蓮が植えられていたが、もう開花期は終わっていて、大方は枯れ始めていたが、中には未だ花を咲かせているものが数本あり、それが今まで見たことも無い蓮の花だったのに驚いた。それらの鑑賞は後回しにして、まずは会館のエレベーターに乗り、高さ50mはあるという展望台に上がった。

入口にある案内の写真や説明などでは、今年の田んぼアートのテーマは「ドラゴンクエスト」ということである。そのようなゲームの世界には無縁な自分たちには何だかよく解らないテーマだった。説明では、《本市の田んぼアートと同様に、ギネス世界記録に「最も長く続いている日本のロールプレイングゲーム」

として認定され、今年誕生30周年を迎えた大人気ゲームシリーズの『ドラゴンクエスト』です」とあり、更に「昨年ギネス世界記録認定に沸いた行田市の田んぼアートが、この強力なコラボレーションの実現により「行田の美味しいお米」のPR等の農業振興と本市の人気観光スポットとして、観光振興を更に推進します」とあった。なるほどと思ったが、何故コラボレーションなのかについては不可解だった。



行田市田んぼアート2016年度作品「ドラゴンクエスト」50mの高さの展望台からの写真だが、風防ガラスのため鮮明さに欠けるものとなった。

30数秒で展望台に着くと、そこは360度の景観が広がっていた。そして眼下東側の田んぼには、何だか怪しげな怪獣の様な絵が、剣を持った恐ろしげな顔つきで描かれていた。田んぼの広さは横幅が150m以上もあり、縦もそれ以上あって、総面積は28,000㎡だとのこと。全てを写真に収めるのは難しい大きさである。使用した稲は9種類で過去最多。田植には2日を要し、延1,500人もが参加したという。展望台の壁には田植の詳細な設計図が貼られていて、並々ならぬ市の思い入れを感じた。

なるほどこれは確かに田舎館村のそれを凌ぐ広さである。ギネス記録認定はまやかしではないなと思った。しかし、自分には何だか納

得し難い絵柄なのである。バーチャルな世界が生み出した怪物様の主役が、こんなにもてはやされる現象をどうも感心できないなという気持ちがあるのである。作者や行田市に文句やケチを付ける気など更々ないのだが、美味しい米をPRするのに、大自然と無関係な何の情緒も感ぜられない怪物のようなものを使うのは如何なものかと思った。大きさだけを世に誇るのに、ただ当世の人気者なら何でもいいというような発想には同意し難いのである。ま、喜び感動する人も大勢いるのだから、何もどうこう言う必要は無いのだと思うが、真老のジジイの価値観は己を度し難いのである。

やっぱり本家の田舎館村の方がいいなと思った。キャンパスとなる田んぼの大きさでは引けを取っても、描かれる芸術性は遥かに上の様な気がする。田舎館村の今年の田んぼアートは、第一会場が真田丸のシーン、第二会場がシン・ゴジラとのこと。遠過ぎて出掛けて行くのは出来ないけど、ライブカメラなどで様子を見て見ると、実際の状況が目前に迫って来るようで、いつもの感動を思い起こすのである。

ちょっと複雑な感慨を抱きながらエレベーターを降りたのだが、その後の会館内の古代蓮に関する説明資料や写真・展示品などを見せて頂いて、これは相当に立派なものだなと感心した。自分は古代蓮といえば大賀ハスだけだと思っていたのだが、世界にはその他何種類もの古代からの蓮があって、花の色や形も様々であり、それらの幾種類かがこの古代蓮の里の池にも植えられているとのこと。来年の開花期には是非とも再訪しなければと思った。蓮の花には、他の植物の花には無い格別の魅力を感じている。来年が楽しみである。

ということで、田んぼアートの見物は終わったのであるが、そのあと、近くに忍城跡があるというので行って見ることにした。武蔵国の忍城のことは、戦国時代以降の歴史書や物語の中で数多く触れられているが、実のところそれが現在のどこなのかを全く知らなかったのである。それが行田市にあったとは！何という迂闊な認識だったのだろうと己を恥じた。

資料によれば、この行田市辺りが埼玉県の特産品の発祥の地だったとか。今までどうして埼玉県なのか解らなかったし、さいたま市のどこかにその源があったのかなどと軽々に考えていたのだけど、これはとんでもない愚かな認識だったと反省させられた。行田市は足袋だけではなくの歴史が詰まっている街だということを初めて知ったのである。

忍城跡には小さな櫓が一つ建っていて、その中に入るのは出来ないようになっていたけど、僅かに残る堀り跡や本丸辺りの屋敷跡などをざっと一回りして、ここも、もう一度じっくり訪ねて見る必要があると強く思った。田んぼアートにはさほど感動できなかったけど、その後の古代蓮池や忍城跡、それに足袋蔵の残る町並みには強く心惹かれるものがあり、己の胸に再訪を約しながら帰途に就いたのだった。

#### ◆ 訃報ご報告

下記の方がご逝去されました。改めてここに哀悼の意を表し、謹んでご報告申し上げます。

佐々木 邦彦氏（2017年8月20日ご逝去）（享年60）

なお、故佐々木 邦彦氏は1975年（昭和50年）4月に入社され、東京支店 昇降機部 中央営業所 営業係配属、以降、千葉営業所、船橋営業所などを歴任され、2000年（平成12年）3月退職されるまで、昇降機営業を担当され活躍されました。

久馬 邦彰氏（2018年6月17日ご逝去）（享年77）

なお、故久馬 邦彰氏は1965年（昭和40年）4月に入社され、本社 エレ部門配属、1966年（昭和41年）4月本社 業務部 エレ保守課 城東（出）、以降本社 エレ管理部 管理課、本社 昇降機本部 昇管理部 管理課、大阪支社 昇降機部 業務課、東京西支社 昇降機部 業務G、東京東支社 昇降機部 業務G、本社 ビル本 特販部、東京支社 特販部 管理G、本社 マーケティング本部 営業部 営業企画Gを歴任、その後MTBに出向、2000年（平成12年）3月定年退職されるまで、主に昇降機生産管理、総合営業管理等を担当され活躍されました。

#### ◆ MELTEC 情報

○ 2018年4月1日現在 MELTEC データ（社員数・事業所以外は2017年3月31日現在）

- ① 社員数：9,757名（2018-4-1 現在）
- ② 事業所数：277ヶ所（同上）
- ③ 商品別契約台数・件数（2018-3-31 現在）
  - ・昇降機保守契約台数：249千台
  - ・冷熱保守契約台数：440千台
  - ・遠隔管理サービス（メルセントリー）件数：17千件
  - ・ビル設備保守件数：29千件

#### ◆ 事務局より

- ・ 第16回目の総会も大変盛り上がり、無事終了いたしました。  
今回もいつものように各事業本部よりノベルティグッズをご提供くださいました。  
毎回参加者には集合写真とスナップ写真を数枚お送りしていましたが、今回は集合写真のみといたしました。スナップ写真は和光会ホームページに掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

- 和光会会報№.3 4 より「くるま旅くらし心得帖」の山本拓弘氏よりくるま旅について投稿いただいておりますが、今回も投稿いただきました。

今年は久しぶりに北海道を旅行されるということで、今年は大雨に合わせ大変でないかと思います。

なお、山本拓弘氏の「くるま旅くらし」の最近の様子は下記ブログに載っておりますので是非ご覧ください。「山本馬骨」で検索しても可能です。

<http://blog.goo.ne.jp/vacotsu8855>
- 和光会ホームページのアドレスが変更されました。**

総会でもご案内した通りホームページのアドレスが変更となりました。

新しいホームページは下記の通りです。

[http://www.geocities.jp/meltec\\_wakokai\\_hp/](http://www.geocities.jp/meltec_wakokai_hp/)

お気に入り登録されたアドレス（URL）の変更をお願いします。

今後も適時情報を更新していきますので、ご意見ありましたら事務局までお寄せください。
- 和光会の連絡・問い合わせ窓口について

OB会事務作業（会員との連絡・通知、1194・カレンダーの送付等）を人事部の委託によりMTBにお手伝いいただいております、MTBの担当は総務・人事支援部（部長：田辺 直樹）で、連絡・問い合わせ窓口は下記のとおりです。

担当：佐々木 敏行、井手 信彰、大澤 淳子

電話：03-3803-8865（代表）

FAX：03-3803-8875

E-mail：[meltec-OB-wakokai@mtb.ssg.meltec.co.jp](mailto:meltec-OB-wakokai@mtb.ssg.meltec.co.jp)
- 住所変更等通常の連絡・問い合わせはMTBの上記和光会担当か、和光会事務局（寺門）で済むと思いますが、会社の人事部の窓口は年金・基金を担当している方で次の通りです。

担当：大峰 勝則

電話：03-5810-5392（ダイヤルイン）

FAX：03-5810-5501

E-mail：[oheki.katsunori@meltec.co.jp](mailto:oheki.katsunori@meltec.co.jp)
- 2018年度会費納入対象の方は2002、2005、2008、2011、2014及び2016年に入会された方々になります。対象者宛に先回「1194」「和光会会報」送付時振込用紙を同封いたしましたので、会費「4,000円（2年分）」の振り込みが未だの方は次の口座宛振り込み賜りたくよろしくお願い申し上げます。

会費振込先：ゆうちょ銀行

【記号】 00100-7

【番号】 650896

【加入者名】 和光会
- E-MAIL 会員各位へは INFORMATION をお送りしておりますが、最近不達が増えておりますので、**メールアドレスの変更時は速やかにご連絡**をお願いいたします。

- ・ 「和光会会報」・「1194」・カレンダーなどを会員宛送付しておりますが、宛所不在で戻ってくる場合がありますので、**転居・住所表示変更等の場合は速やかにご連絡をお願いいたします。**
- ・ パソコンのある方は、会報や総会写真を下記和光会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

[http://www.geocities.jp/meltec\\_wakokai\\_hp/](http://www.geocities.jp/meltec_wakokai_hp/)

**皆様の日頃の活動やグループ活動などのお便り・投稿をよろしくお願いいたします。**

できれば原稿はワードで作成頂き、写真などを数点添えてメールでの投稿をお待ちしております。

22017-7-25 和光会事務局 寺門 三男  
029-872-4122 [mitsuotera@jcom.home.ne.jp](mailto:mitsuotera@jcom.home.ne.jp)